

モーニングセミナー 12 [MS12]

日時：2026年4月12日(日) 7:50~8:50

会場：Room 2A 201 (福岡国際会議場)

Santen

糖化と酸化が語る、

老化と疾患の
関係性

座長

堀 裕一 先生 (東邦大学)



「糖化」「酸化」と聞かれて何を思い浮かべられるでしょうか？

私たちの身体は、日々の食事から得た糖質や酸素を使ってエネルギーを生み出していますが、その過程で生じる「糖化」や「酸化」は、加齢や疾患の発症・進行に深く関与していることが報告されています。糖化とは、糖が体内のたんぱく質と結合する現象であり、これが進行するとAGEs(終末糖化産物)が生成され、細胞に炎症を引き起こすことで加齢性変化を促進すると考えられています。一方、酸化は酸素と栄養素が結びつくことでエネルギーを生み出す過程で、活性酸素という副産物が発生します。活性酸素が過剰になると酸化ストレス状態となり、細胞が傷つき、様々な疾患の引き金となる可能性が指摘されています。

本セミナーでは、糖化、酸化とは何か？全身疾患や眼疾患との関わりについて、エキスパートの先生方にご講演いただき、老化と疾患の関係性に迫りたいと思います。

三五先生からは、全身疾患編として、糖化、酸化とは何か、またそれらが全身にどのような影響を与えるのかについて、中澤先生からは眼疾患編として、白内障を題材として糖化や酸化と水晶体の関連について、ご講演いただきます。最後に実臨床編として、加治先生からは日常診療でよく見る眼疾患と糖化、酸化の関わりについてご講演いただきます。

明日からの診療で糖化、酸化を意識した患者さんへの生活指導の一助となれば幸いです。朝早い時間ではありますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

演者 1

老化と疾患の関係性
～全身疾患編～三五 一憲 先生
(三五医院)

演者 2

老化と疾患の関係性
～眼疾患編～中澤 洋介 先生
(慶應義塾大学 薬学部)

演者 3

老化と疾患の関係性
～実臨床編～加治 優一 先生
(松本眼科)